

三ツ寺 I 遺跡(高崎市)

前方の高架の下に三ツ寺 I 遺跡(全国で初めて古墳時代の豪族の館として発掘された遺跡)の説明坂があるという



「三ツ寺 I 遺跡説明板 ⇒」なる表示が立っている



正面に説明板があった



劣化していて読みづらい/5世紀後半から6世紀前半にかけて古代豪族の大居館が営まれていた

古代豪族の大居館 三ッ寺I遺跡

三ッ寺I遺跡は、古墳時代(約1500年前)に、榛名山の東南麓を治めた豪族の館跡で、我が国で初めて発見されました。西暦5世紀後半に築かれ、6世紀前半には廃棄されています。館は、石垣と3重の柵で囲まれた一辺36mの正方形を成し、いくつもの張り出しが造り付けられています。館内部には大きな建物・井戸・祭りの場とみられる石敷の施設・竪穴住居があり、豪族の居住・政治・祭りとともに金属の精錬も行われました。館の周囲には、河川を改修して造った幅30m・深さ3.5mの堀が巡っています。堀には入口で木製の橋や外部から水を引く水道橋が架かっていました。発掘されたのは一部分ですが、規模・構造や当時の土木技術を知る上で、きわめて学術的価値の高い跡です。周辺には、豪族の墓である保渡田古墳群をはじめ、庶民の村々・水田・畑の遺跡が存在し、豪族をとりまく社会がわかる点でも、重要な地域となっています。



この辺り一帯に展開していたようだ



左手を見る/水濠で囲まれた中に柵をめぐらせ、堅穴住居や掘立柱の建物、石敷の遺構があり、館、倉庫、祭祀の場、従者の住居などがあったという



そのまた左手/大居館の主は、近くにある保渡田古墳群にある大きな前方後円墳に埋葬されたと考えられている



更に左手/その大居館の主は、当時「上毛野国」に一大勢力を保っていた上毛野君が該当すると言う説が有力視されている



高架の反対側もそのエリア



その左手を見たところ



更に左手を見たところ



この一瞬に
君は声をかけられるか
豊かな心で
高のPTAが主催

参考ホームページ

<http://www.gunmaibun.org/remain/guide/tyumo/mitudera01.html>

<http://www.eniguma49.sakura.ne.jp/kofun.kodaiiseki/gunma/mituteraiseki/mituteraiseki.html>

<http://kdshiro.blog.fc2.com/blog-entry-1946.html>

<http://milky.geocities.jp/yogototigi/gunma/takasakigunma.htm>

<http://hatazoku.d.dooo.jp/mitude.htm>

https://blogs.yahoo.co.jp/haniwamyouou/30054399.html?_vsp=5LiJ44OE5a%2B64oWg6YG66Leh

赤丸のエリア

